

The DENSO logo is rendered in a bold, italicized, red sans-serif font.

DENSO

Crafting the Core

2022年3月期 決算説明会

2022年4月28日
株式会社デンソー

2022年3月期 決算のポイント

1. 2022年3月期の実績は、半導体不足などによる車両減産他 外部環境の影響あるも、新型コロナウイルス感染症による影響からの回復と、採算改善努力などにより、前年比で増収・増益。
2. 来期の業績予想は、外部環境が不透明な中ではあるが、好調な売上収益と、採算改善の積み増し、変動対応力の更なる強化や、経営基盤強化の取組みを反映し、売上収益 6兆3,500億円、営業利益 5,600億円。
3. 当期の年間配当は165円(前回公表比+5円)、来期予想は180円(中間/期末各90円)とし、今後も長期・安定的に配当水準を向上させていく。

2022年3月期 連結決算

() 内は売上収益比

【単位：億円、%】

	21/3期実績	22/3期実績	増減額	増減率
売上収益	49,367	55,155	+5,788	+11.7%
営業利益	(3.1%) 1,551	(6.2%) 3,412	+1,861	+120.0%
税引前利益	(3.9%) 1,938	(7.0%) 3,848	+1,911	+98.6%
当期利益 ^(※)	(2.5%) 1,251	(4.8%) 2,639	+1,388	+111.0%

(※) 親会社の所有者に帰属する当期利益

前提条件	為替レート	1ドル		11-0		増減額	増減率
		106.1円	112.4円	123.7円	130.6円		
	1円	15.7円	17.5円	1.8円	円安	-	-
国内車両生産		788万台	733万台	△55万台		△6.9%	
海外日系車生産		1,585万台	1,722万台	+137万台		+8.7%	

DENSO
Crafting the Core

2022年3月期 決算説明会 / 2022.4.28
© DENSO CORPORATION All Rights Reserved.

2/10

<連結決算概要>

売上収益

5兆5,155億円（前年比 +5,788億円、+11.7%）

営業利益

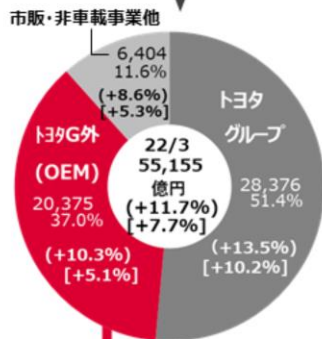
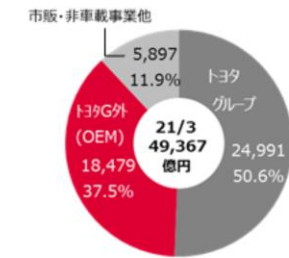
3,412億円（+1,861億円、+120.0%）

当期利益

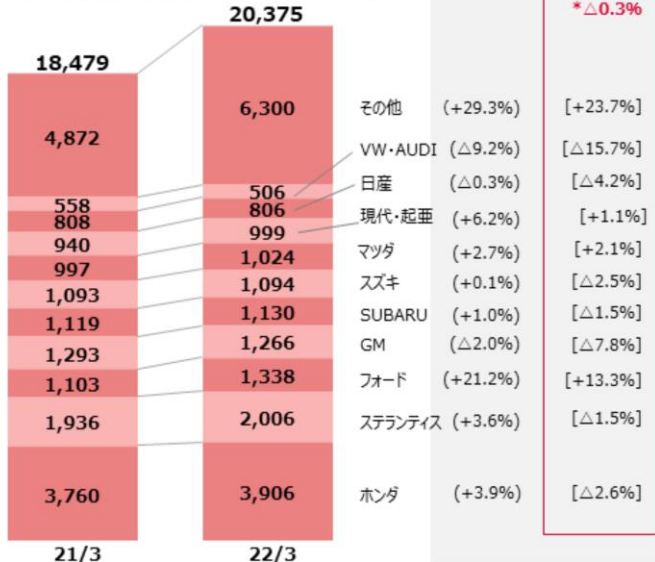
2,639億円（+1,388億円、+111.0%）

2022年3月期 売上収益 (得意先別)

【単位：億円】
 () : 前年比増減
 [] : 物量^ハ-ス増減 (為替除く)
 * : 対21/3期4Q (3カ月) 物量^ハ-ス



売上収益 49,367 ⇒ 55,155 (+11.7%) [+7.7%]
 * +1.3%
 ・トヨタグループ 24,991 ⇒ 28,376 (+13.5%) [+10.2%]
 * +3.7%
 ・トヨタグループ外 18,479 ⇒ 20,375 (+10.3%) [+5.1%]
 * △0.3%



<得意先別売上 (現地通貨ベース) >

各社半導体不足等による車両減産影響あるものの、電動化や先進安全製品での拡販・装着率が増加

トヨタグループ向け・・・ハイブリッド車製品、先進安全製品を中心に売上が伸び、年間累計で前年比+10.2%

トヨタグループ外・・・年間累計では前年比+5.1%

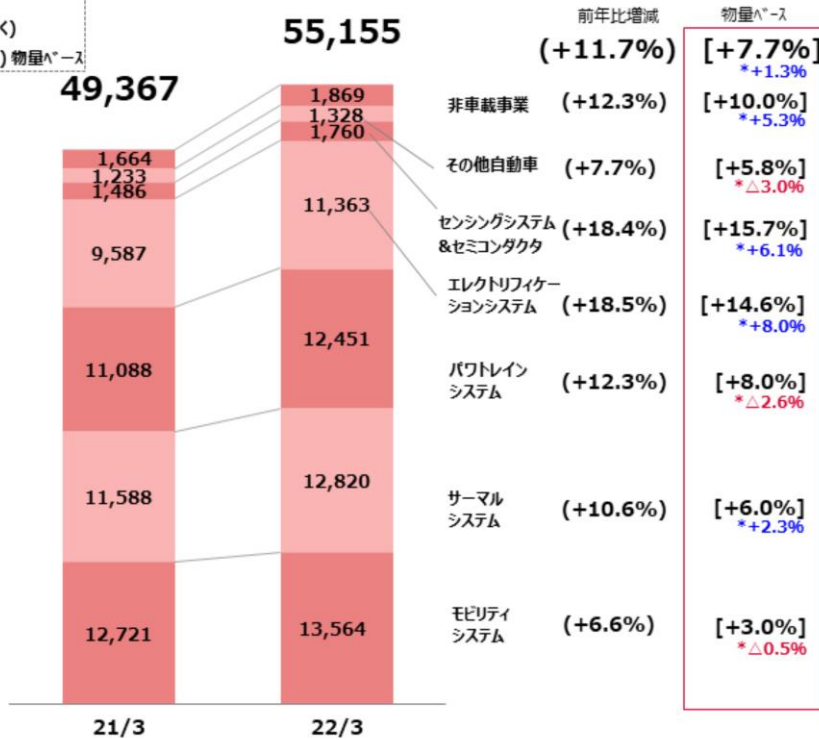
2022年3月期 売上収益 (製品別)

【単位：億円】

() : 前年比増減

[] : 物量[△]-ス増減(為替除く)

* : 対21/3期4Q (3カ月) 物量[△]-ス



DENSO
Crafting the Core

2022年3月期 決算説明会 / 2022.4.28
© DENSO CORPORATION All Rights Reserved.

4/10

<製品別売上 (現地通貨ベース) >

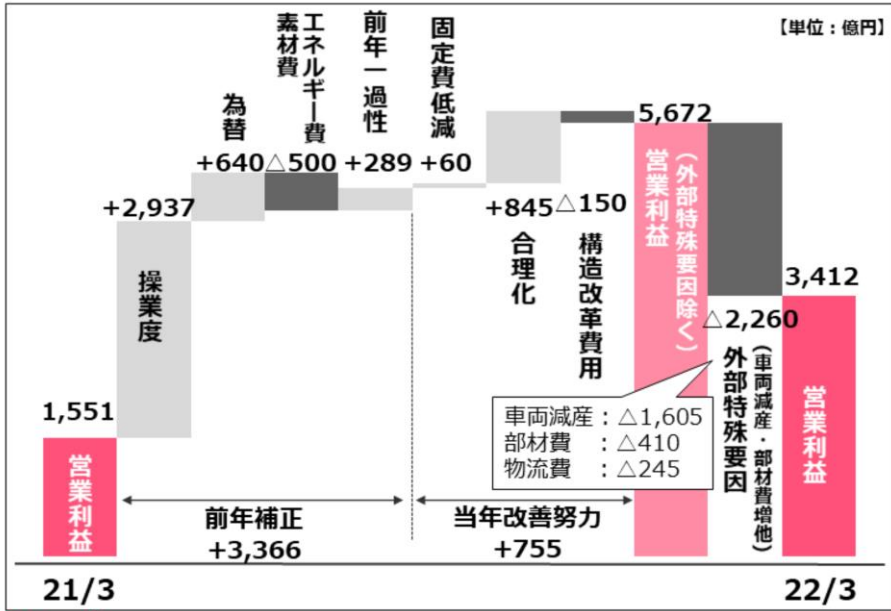
半導体不足等による車両減産影響があるものの、すべての事業グループにおいて、対前年で増収

- ・ センシングシステム・セミコンダクタ・・・ADAS車向け圧力センサの増加
- ・ エレクトリフィケーションシステム・・・日本、北米、中国でのインバーターの販売増加
- ・ モビリティシステム・・・新製品であるGSP3を含む、先進安全関連製品の装着率向上などにより増収

2022年3月期 営業利益増減要因 (前年比)

半導体不足による車両減産・コスト増に加え、素材費・エネルギー費等の環境悪化が利益下押しも、
 (△1,605) (△655) (△500)

新型コロナウイルスからの回復による操業度益、改善・合理化努力により、対前年増収増益



<営業利益の増減要因>

プラス要因

- ・ コロナ影響からの回復等の前年補正 3,366億円
- ・ 体質変革活動「Reborn21」を通じた合理化 845億円

マイナス要因

- ・ 構造改革費用150億円、
- ・ 部材費、物流費の悪化655億円

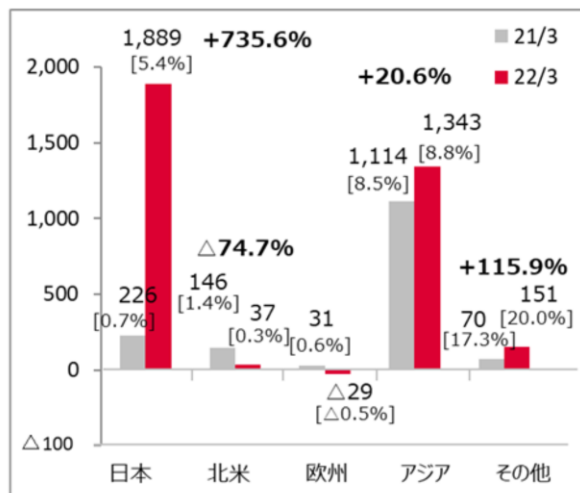
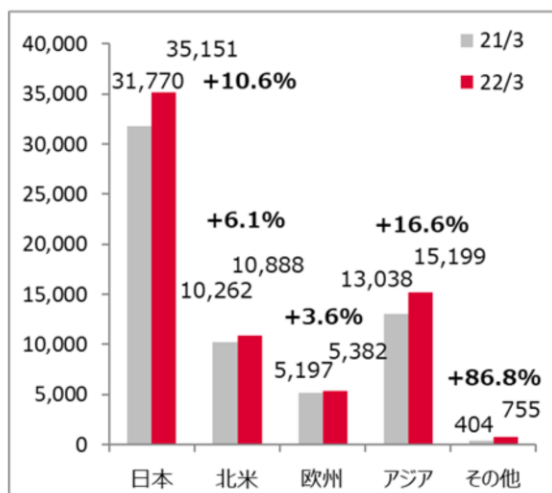
2022年3月期 所在地別セグメント情報 (前年比)

※為替影響を除く：前年為替レートを使用 (106.1円/ドル、123.7円/1-0、15.7円/元)

売上収益

営業利益

【単位：億円】
[]は営業利益率



2022年3月期 決算説明会 / 2022.4.28
© DENSO CORPORATION All Rights Reserved.

6/10

<地域別売上収益・営業利益 (現地通貨ベース) >

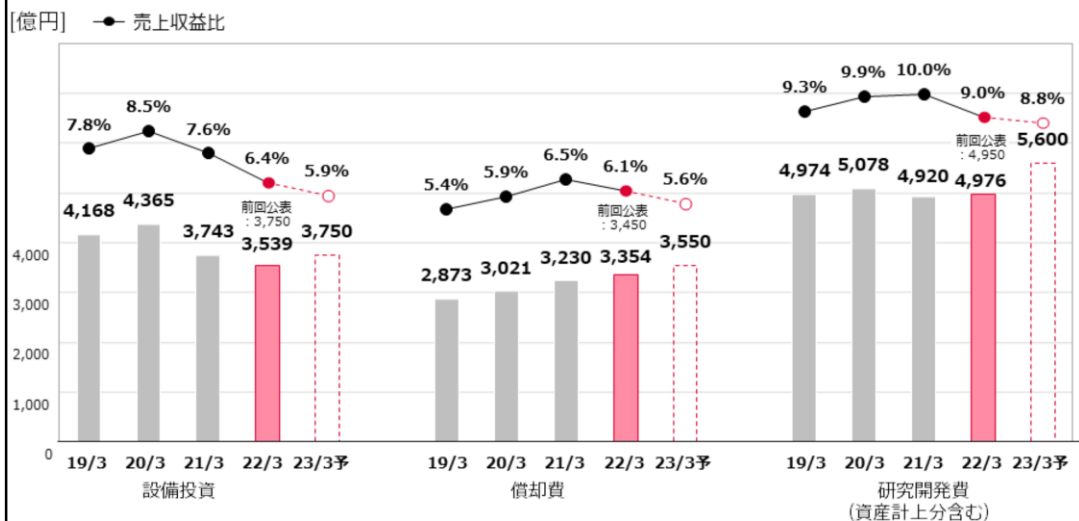
売上収益

直近の車両減産の影響があるものの、
新型コロナウイルス感染症の影響からの回復に伴い、
前年比では、全地域で増収

営業利益

外部環境の悪化などがあるものの、上期の操業度良化に加え、
体質変革活動の効果刈り取りが、グローバルで進んだ結果、
外部環境影響の大きかった北米や、
構造改革費用を計上した欧州を除き、増益

設備投資・償却費・研究開発費の推移



DENSO
Crafting the Core

2022年3月期 決算説明会 / 2022.4.28
© DENSO CORPORATION All Rights Reserved.

7/10

<設備投資>

22/3期実績 3,539億円
23/3期予想 3,750億円

当期は電動化・先進安全の注力分野への必要な投入を加速する一方、足元の不透明な事業環境も踏まえた投資精査を実施

来期予想は、前期分の設備入荷の他、電動化・先進安全分野でのグローバル展開の本格化、環境分野への投入強化を反映

<研究開発費>

22/3期実績 4,976億円
23/3期予想 5,600億円

電動化技術開発や、交通死亡事故ゼロに向け、幅広い事故シーンへの対応と普及を目指した先進安全技術開発などをさらに加速

2023年3月期 通期予想

() 内は売上収益比

【単位：億円、%】

	22/3期実績	23/3期予想	増減額	増減率
売上収益	55,155	63,500	+8,345	+15.1%
営業利益	(6.2%) 3,412	(8.8%) 5,600	+2,188	+64.1%
税引前利益	(7.0%) 3,848	(9.5%) 6,030	+2,182	+56.7%
当期利益 ^(※1)	(4.8%) 2,639	(6.8%) 4,340	+1,701	+64.5%

(※1) 親会社の所有者に帰属する当期利益

前提条件	為替レート	1ドル		1ユーロ		増減額	増減率
		円	円	円	円		
		112.4円	115.0円	130.6円	130.0円	2.6円 円安	-
		17.5円	18.1円	17.5円	17.5円	0.6円 円高	-
		1元	1元	1元	1元	0.6円 円安	-
	国内車両生産 ^(※2)	733万台	942万台	733万台	942万台	+209万台	+28.5%
	海外日系車生産 ^(※2)	1,722万台	2,156万台	1,722万台	2,156万台	+434万台	+25.2%

(※2) 23/3期予想には外部環境悪化リスクは未反映

DENSO
Crafting the Core

2022年3月期 決算説明会 / 2022.4.28
© DENSO CORPORATION All Rights Reserved.

8/10

<通期予想>

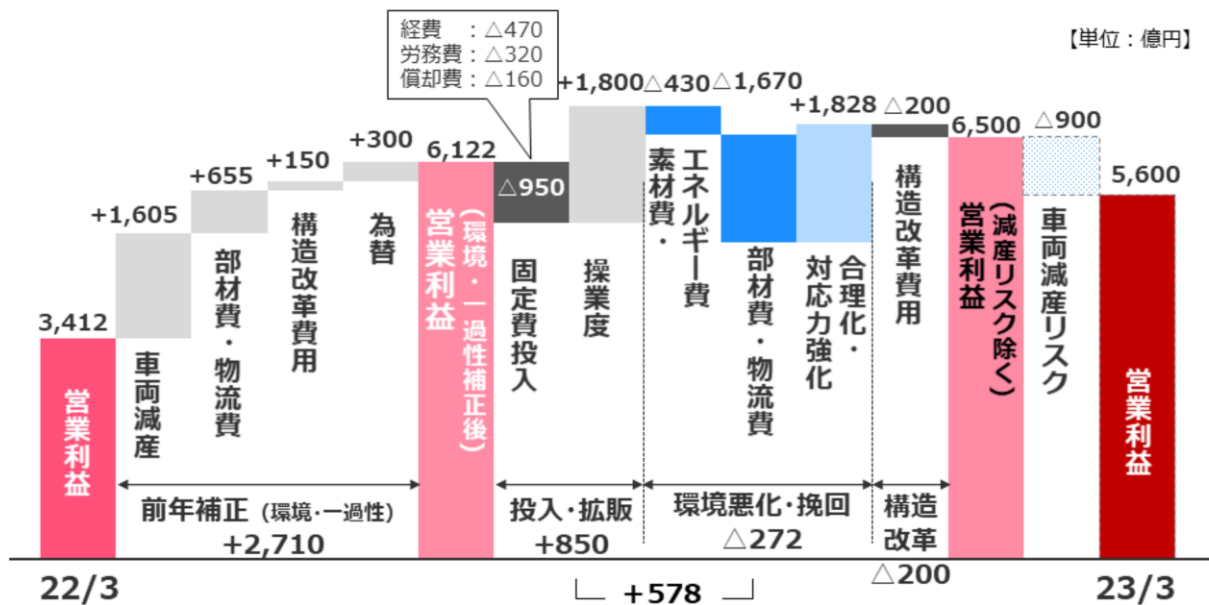
- ・売上収益 6兆3,500億円、
- ・営業利益 5,600億円
- ・前提レートは ドル115円、ユーロ130円、元18.1円

2023年3月期予想 営業利益増減要因 (前年比)

半導体不足による部材費・物流費に加え、素材費・エネルギー費・労務費も高騰し、外部環境は悪化。

(△1,670) (△430)

車両減産リスクもあるが、変動対応力強化と合理化努力で、対前年で増収増益 (年間利益：5,600億)



DENSO
Crafting the Core

2022年3月期 決算説明会 / 2022.4.28
© DENSO CORPORATION All Rights Reserved.

9/10

<次年度の営業利益増減要因>

プラス要因

前年補正 2,710億円

合理化、対応力強化 1,828億円

マイナス要因

固定費 (研究開発費、北米などでの労務費) 950億円

素材費、エネルギー費 430億、電子部品を中心とした部材費や、物流費 1,670億円

→これらに対しては、採算改善の積み増しをしたうえで、対応強化。

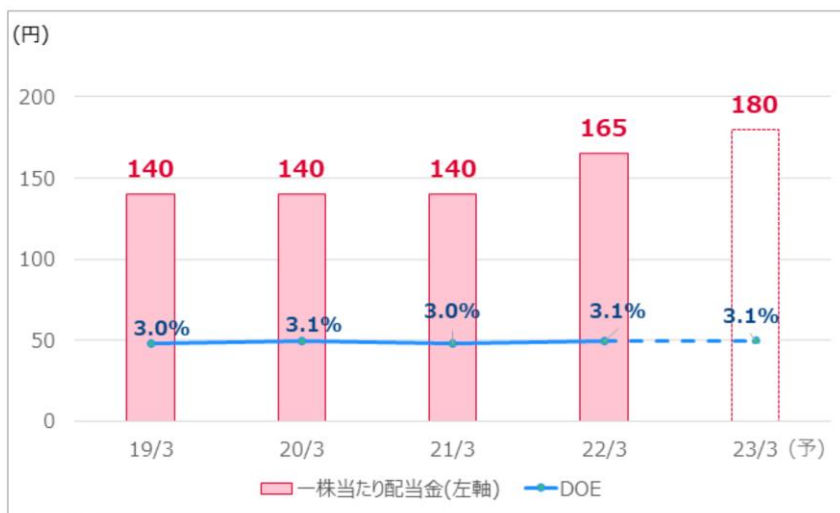
構造改革費用 200億円

車両減産リスク 900億円

株主還元

22/3期：公表予想より5円増配し年間で165円

23/3期：中間90円/期末90円の年間180円を予定



DENSO
Crafting the Core

2022年3月期 決算説明会 / 2022.4.28
© DENSO CORPORATION All Rights Reserved.

10/10

<配当>

長期安定的に配当水準を向上させ、株主の皆様へ還元する方針に基づき、

22/3期 期末配当を公表より5円増配し、165円

23/3期予想 180円を予定

不透明な事業環境のため、DOEは当期と同水準とするが、今後継続的に向上を検討していく

DENSO
Crafting the Core

参考資料

- ・四半期 売上・営業利益推移
- ・前提となる為替レート／車両生産台数
- ・得意先別売上
- ・製品別売上
- ・所在地セグメント情報（円貨ベース）
- ・地域別 設備投資・償却費・研究開発費

四半期売上・営業利益推移

【単位：億円】

売上
収益

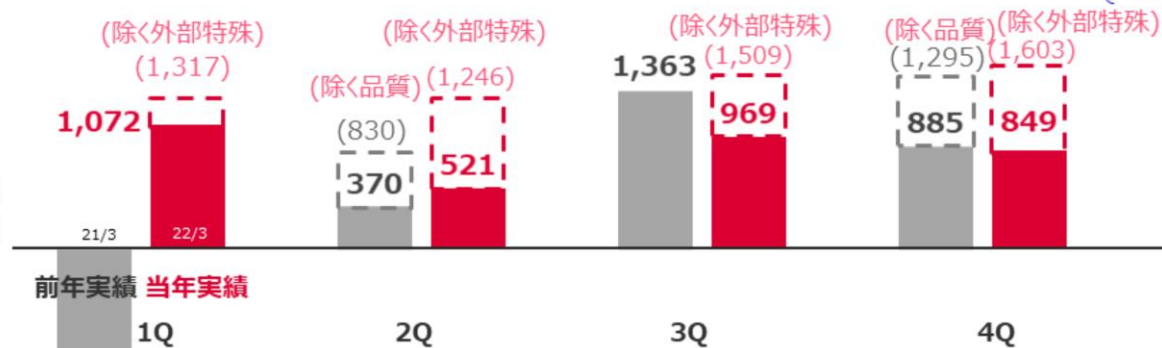
前年実績	当年実績	前年実績	当年実績	前年実績	当年実績	前年実績	当年実績
7,651	13,569	13,096	12,261	14,339	14,261	14,281	15,065
[100]	[177]	[100]	[94]	[100]	[99]	[100]	[105]

年間 49,367 55,155

[100] [112]

年間 1,551 3,412 (前回公表 4,000)

営業
利益



△1,066

DENSO
Crafting the Core

2022年3月期 決算説明会 / 2022.4.28
© DENSO CORPORATION All Rights Reserved.

前提となる為替レート／車両生産台数

		22/3通期									23/3通期	
		上期			下期			22/3通期			23/3通期	
		前年実績	当年実績	前年比	前年実績	当年実績	前年比	前年実績	当年実績	前年比	予想	前年比
為替レート (円)	ドル	106.9	109.8	2.9円 円安	105.2	115.0	9.8円 円安	106.1	112.4	6.3円 円安	115.0	2.6円 円安
	ユーロ	121.3	130.9	9.6円 円安	126.1	130.2	4.1円 円安	123.7	130.6	6.9円 円安	130.0	0.6円 円高
	元	15.3	17.0	1.7円 円安	16.1	18.0	1.9円 円安	15.7	17.5	1.8円 円安	18.1	0.6円 円安
1円変動の 利益影響額 (億円)	ドル	/			/			21	33	+12	34	+1
	ユーロ							8	11	+3	8	△ 3
	元							154	190	+36	223	+33
日系車両生産 台数 (万台)	国内	334	353	+5.5%	454	381	△ 16.1%	788	733	△ 6.9%	942	+28.5%
	海外日系車	625	836	+33.9%	960	886	△ 7.7%	1,585	1,722	+8.7%	2,156	+25.2%

得意先別売上

【単位：億円,%】

区分	21/3期実績		22/3期実績		増減	増減率	為替等除く 増減率
	金額	構成比	金額	構成比			
トヨタ	23,310	47.2	26,425	47.9	3,115	13.4	9.9
ダイハツ	1,204	2.4	1,395	2.5	191	15.8	13.4
日野自動車	477	1.0	556	1.0	79	16.5	16.1
トヨタグループ計	24,991	50.6	28,376	51.4	3,385	13.5	10.2
ホンダ	3,760	7.7	3,906	7.1	146	3.9	△ 2.6
ステランティス	1,936	3.9	2,006	3.6	70	3.6	△ 1.5
(うち F C A)	1,519	3.1	1,599	2.9	79	5.2	0.1
(うち P S A)	417	0.8	407	0.7	△ 10	△ 2.3	△ 7.4
フォード	1,103	2.2	1,338	2.4	234	21.2	13.3
G M	1,293	2.6	1,266	2.3	△ 27	△ 2.0	△ 7.8
S U B A R U	1,119	2.3	1,130	2.0	11	1.0	△ 1.5
スズキ	1,093	2.2	1,094	2.0	1	0.1	△ 2.5
マツダ	997	2.0	1,024	1.9	27	2.7	2.1
現代・起亜	940	1.9	999	1.8	59	6.2	1.1
日産自動車	808	1.6	806	1.5	△ 2	△ 0.3	△ 4.2
いすゞ	603	1.2	780	1.4	177	29.3	28.8
V W ・ A U D I	558	1.1	506	0.9	△ 51	△ 9.2	△ 15.7
三菱自動車	338	0.7	491	0.9	153	45.3	42.9
B M W	477	1.0	491	0.9	14	3.1	△ 2.4
ボルボ	281	0.6	277	0.5	△ 4	△ 1.5	△ 8.2
ダイムラー	204	0.4	263	0.5	59	28.8	22.5
その他メーカー	2,969	6.0	3,998	7.3	1,030	34.7	27.7
O E M 計	43,470	88.1	48,751	88.4	5,282	12.1	8.0
市販・非車載事業※	5,897	11.9	6,404	11.6	506	8.6	5.3
合計	49,367	100.0	55,155	100.0	5,788	11.7	7.7

※ OES（メーカー補給含む）、一般市販、新事業、設備売上等を含む

製品別売上

【単位：億円,%】

区分	21/3期実績		22/3期実績		増減	増減率	為替等除く 増減率
	金額	構成比	金額	構成比			
モビリティシステム	12,721	25.8	13,564	24.6	843	6.6	3.0
サーマルシステム	11,588	23.5	12,820	23.2	1,232	10.6	6.0
パワトレインシステム	11,088	22.5	12,451	22.6	1,363	12.3	8.0
エレクトリフィケーションシステム	9,587	19.4	11,363	20.6	1,776	18.5	14.6
センシングシステム&セミコンダクタ	1,486	3.0	1,760	3.2	274	18.4	15.7
その他 ※	1,233	2.5	1,328	2.4	95	7.7	5.8
自動車分野計	47,703	96.6	53,286	96.6	5,583	11.7	7.6
非車載事業計	1,664	3.4	1,869	3.4	205	12.3	10.0
合計	49,367	100.0	55,155	100.0	5,788	11.7	7.7

※ 設備売上、補修品等を含む

2022年3月期 所在地別セグメント情報 (前年比)

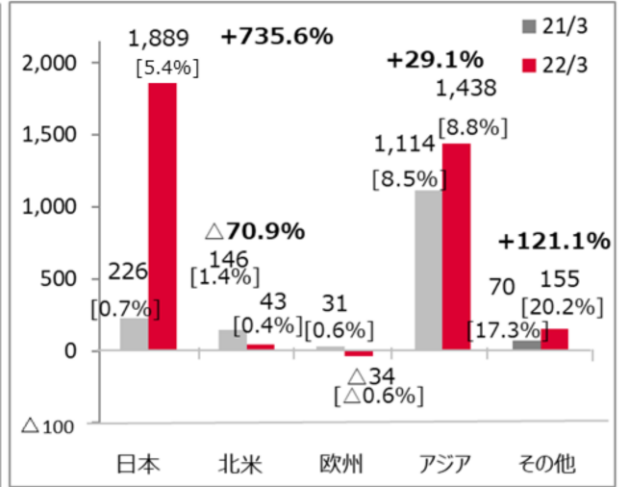
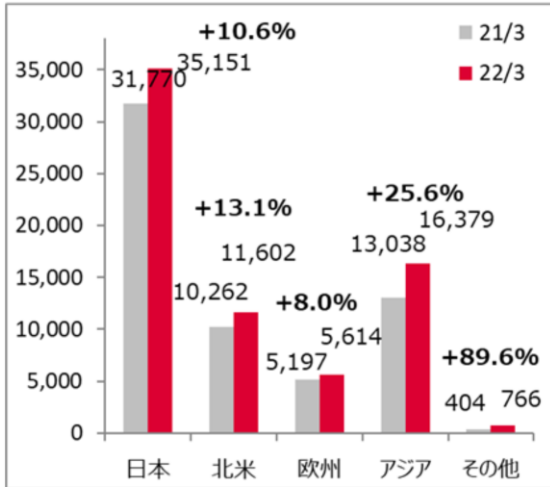
円貨ベース

売上収益

営業利益

【単位：億円】

[]は営業利益率



地域別 設備投資/償却費、研究開発費

(資産計上含む)

[単位：億円, %]

		21/3期 実績	22/3期 実績	増減率	23/3期 予想	増減率
設備投資	日本	2,576	2,192	△14.9%	2,310	5.4%
	北米	343	406	18.4%	400	△1.5%
	欧州	168	193	14.9%	210	8.8%
	アジア	635	716	12.8%	790	10.3%
	その他	21	32	52.4%	40	25.0%
	合計	3,743	3,539	△5.5%	3,750	6.0%
償却費	日本	2,057	2,116	2.9%	2,190	3.5%
	北米	395	408	3.3%	430	5.4%
	欧州	245	252	2.9%	260	3.2%
	アジア	519	562	8.3%	640	13.9%
	その他	14	16	14.3%	30	87.5%
	合計	3,230	3,354	3.8%	3,550	5.8%
研究開発費 (売上高比)		4,920 (10.0%)	4,976 (9.0%)	1.1%	5,600 (8.8%)	12.5%